

品種解説：「コイヒメ」

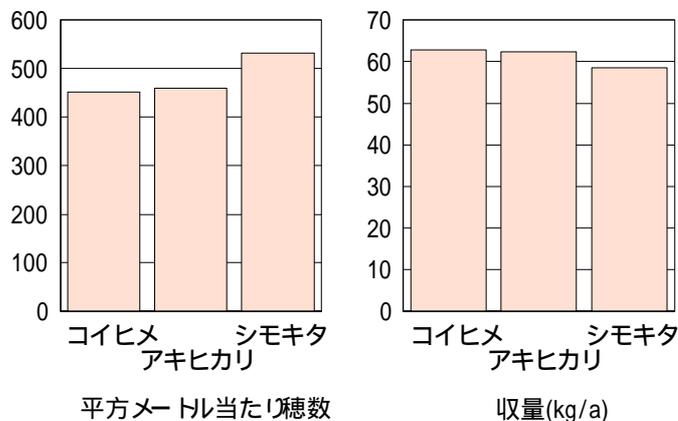
概要：本品種の耐冷性は「アキヒカリ」「ヨネシロ」より強い“強”である。名前の意味は、“信玄の奥方のように、米がきれいで品質、食味が良いこと”を表現する。

1．来歴の概要

良食味で耐冷性の強い「コシヒカリ」と中生の多収・安定な中生品種である「レイメイ」との第一世代を母とし、中生で良質、安定多収品種の「アキヒカリ」を父として、1975年に青森県農業試験場藤坂支場で交配された。1981年に「ふ系129号」の系統名が付けられ、1989年に水稻農林279号として登録された。

2．形態的特性

- ・ 稈 長：「アキヒカリ」並みかやや長く、「ヨネシロ」より短い。
- ・ 穂 長：「アキヒカリ」並みで、「ヨネシロ」より短い。
- ・ 穂 数：「アキヒカリ」並みかやや多く、「ヨネシロ」よりは多い（下図参照）。偏穂重型のうるち種である。
- ・ 粒 大：「アキヒカリ」とほぼ同じで、「ヨネシロ」より小さい。
- ・ 千粒重：「アキヒカリ」「ヨネシロ」よりやや重い。



3．生態的特性

- ・ 出穂期：「アキヒカリ」より2日早い。
- ・ 成熟期：「アキヒカリ」「ヨネシロ」並みで、育成地では“早生”である。
- ・ 収量性：「アキヒカリ」並みかやや優る。（上図参照）。
- ・ 耐倒伏性：「アキヒカリ」並みかやや弱いが、「ヨネシロ」よりは強い。
- ・ 葉いもち抵抗性：「アキヒカリ」より弱い。
- ・ 穂いもち抵抗性：「アキヒカリ」より弱く、「ムツホナミ」より強い。
- ・ 耐冷性：「アキヒカリ」「ヨネシロ」より強い。
- ・ 穂発芽性：「アキヒカリ」より発芽しやすい。

特 性	コイヒメ	アキヒカリ	シモキタ
耐冷性	強	やや弱	やや弱
耐倒伏性	やや強	強	中
葉いもち抵抗性	中	やや強	中
穂いもち抵抗性	中	やや強	中
穂発芽性	やや易	中	易

4．品質・食味特性

- ・腹白、心白は極めて少ない。
- ・玄米の外観品質は「アキヒカリ」と同じで良質である。
- ・食味は「アキヒカリ」「ヨネシロ」より優れ、「ムツホナミ」より良い“上の下”である。

5．適地等

- ・東北北部の中生地帯、東北中南部～北陸の早生地帯、関東以西の山間冷涼地帯に適する。

6．栽培上の注意

- ・平坦地での多肥栽培は倒伏しやすくなるので施肥基準を守る。
- ・障害型耐冷性は強いが、穂ばらみ期の低温時には深水管理で幼穂を保護する。
- ・いもち病には強くないので基準防除を徹底する。
- ・遅刈りは品質低下を招くので適期刈り取りに努める。

<参考資料>

農林水産省農林水産技術会議事務局（平成元年6月）：平成元年農林水産省育成農作物新品種（夏作物・園芸作物）。